

解答解説

第1問

問1…ウ

*寛政期に置かれた人足寄場は、治安悪化の原因であった無宿（人）や博徒（人）を強制収容するための施設であった。この背景には、農村における困窮と都市への出稼ぎの増加による治安の悪化があった。この社会不安はおさまることなく、1805年には領主の区別なく無宿や博徒の取締りをおこなった関東取締出役が置かれ、1827年には同じく領主の区別なく協同して地域の治安・秩序維持にあたった寄場組合がつくられた。

問2…答

*郡司は五刑のうち答までを専断できた。

問3…ウ

*アの淳仁天皇は、淡路廢帝とも呼ばれるように、淡路に流された。イの崇徳上皇は讃岐、エの後醍醐天皇は隠岐に流された。

問4…エ

*アはたとえば以降の作品が逆。イは当時の林家当主から人材が得られなかったので、寛政の三博士らが儒官として登用されたので誤り。ウは林子平はアヘン戦争以前に死去（1793年）しているので誤り。

問5…イ

*10回目の遣唐使は、帰国の船に鑑真が随伴した遣唐使である。アは阿倍仲麻呂の詠んだ歌で、10回目よりも前の遣唐使で唐に渡った。ウは菅原道真の遣唐使廃止の建議、エは日宋貿易についてなので誤り。

問6…ウ・エ

*アとイの記述に該当する時代は桓武天皇の時代。アが軍団の廃止と健児の創設、イが「徳政論争」。なおウが延喜の荘園整理令、エが914（延喜14）年に出された三善清行の意見封事（本朝文粹に所収）。

問7…ア・イ・ウ

*アとイはいずれも時期が違う。ウは国家財政への依存度が低くはなっていたが、まだ荘園からの収入が大部分を占めていたわけではないので誤り。

問8…2番目：『続日本紀』 5番目：『日本文徳天皇実録』

*『日本書紀』『続日本紀』『日本後紀』『続日本後紀』『日本文徳天皇実録』『日本三代実録』の順。

第2問

問1…ウ

問2…ア

*法界寺阿弥陀如来像、高野山聖衆来迎図、小右記はいずれも国風文化の作品である。

問3…ア

*念仏ではなく題目。なお日蓮は四箇格言の中で、「念仏無間」と言っている。

問4…エ

*馬籠宿は現在の岐阜県に位置する。ア：静岡県、イ：長野県、ウ：愛知県、エ：岐阜県なので答えはエ。

問5…高麗

問6…ア・イ（完答）

*ウ：貞永式目ではなく建武式目である。

エ：高師直は直義派と敵対していた。観応の擾乱は直義派が高師直排除のための軍事行動から始まった。

問7…カ→オ→ウ→キ→ア→エ→イ

*土岐氏の乱が1390年、明德の乱が1391年、応永の乱が1399年、永享の乱が1438～39年、結城合戦が1440年、嘉吉の変が1441年、応仁の乱が1467年。

問8…エ→カ→ウ→オ→イ→ア

*太宰治 1909/6/19、吉川英治 1892/8/11、芥川龍之介 1892/3/1、島崎藤村 1872/3/25、鷺尾雨工 1892/4/27、菊池寛 1888/12/26

第3問

問1…ア

問2…憲政の常道

問3…幣原喜重郎

問4…B：統帥（大） C：編制（大）

問5…エ

*上杉慎吉ではなく菊池武夫。

問6…ア・オ

問7…ウ

問8…ウ・エ

*ウ：第一次近衛内閣は新体制運動で新政党結成を試みたが、頓挫し、1939年に総辞職した。大政翼賛会は1940年10月に結成されたから誤り。大日本産業報国会も1940年結成。

エ：日米通商航海条約破棄が通告されたのは第一次近衛内閣総辞職後のことであるから誤り。

問9…木戸幸一